

※最初に同封の「甲状腺検査について」をお読みください。

## 甲状腺検査のお知らせ

福島県及び福島県立医科大学では、東京電力福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、子どもたちの健康を長期に見守るために、甲状腺検査を実施しています。この検査は、原発事故により放出された放射性ヨウ素等の影響で小児甲状腺がんが増加するのではないかとの懸念が高まったことを受け、県民の不安に応えるために始めました。

この検査では、甲状腺の状態を超音波診断装置で調べますが、個別に放射線被ばくの影響がわかるものではありません。

この検査に限らず、どのような検査にもメリットとデメリットはあります。

甲状腺検査を受診することで想定されるメリットとしては、検査の結果、問題がなければ、放射線の健康影響を心配されている方の安心につながることや、問題があれば（治療を必要とする変化が発見されれば）、早期診断早期治療につながる可能性があります。

デメリットとしては、一生気づかずに過ごすかもしれない無害の甲状腺がんを無用に診断する可能性や治療の必要のない結節やのう胞が発見されることによりかえって不安になるなどの心への影響が考えられます。

メリット・デメリットの詳細については、別紙の「甲状腺検査について」をご覧ください。

受診されるかどうかはご本人（未成年の方はご本人と保護者）のご希望によりますので、検査の内容と意義をご理解していただいて、受診を希望されるかどうか、ご返信にてお知らせください。

（同封の「甲状腺検査 受診の手引き」をご参照のうえ、必要書類を同封の返信用封筒によりご返送ください。）

### 甲状腺検査対象者及び保護者 様

（検査日、検査場所等）

- 1 検査対象者
- 2 検査日
- 3 検査時間
- 4 検査場所
- 5 同意確認書兼  
問診票の提出期限
- 6 検査内容

検査の同意・不同意に関わらず裏面の  
「同意確認書」にご記入のうえご返送ください。

#### 【お問い合わせ先】

甲状腺検査の検査場所や日時の変更などに関するお問い合わせ（検査会場や検査実施機関への直接のお問い合わせはご遠慮ください。）

福島県立医科大学 ふくしま国際医療科学センター 放射線医学県民健康管理センター

コールセンター TEL024-549-5130 （9:00～17:00土日・祝日12/29～1/3を除く）

※おかけ間違いのないようご注意ください メールアドレス:kenkan@fmu.ac.jp



1 超音波診断装置を用いた甲状腺の検査については、メリットのみならずデメリットも指摘されてお  
2 ます。そのため、放射線被ばくがない場合は、一般的には症状のない人に対する甲状腺の超音波検査は  
3 行われてきませんでした。福島県及び福島県立医科大学では、東京電力福島第一原子力発電所事故の影  
4 響で甲状腺がんが増加するのではないかと懸念に対応するため甲状腺検査を開始しております。本甲  
5 状腺検査を受診することにもメリットとデメリットがあることが考えられており、専門家からの主な意  
6 見を表記しましたので、検査同意確認書に記入される際の参考としていただければ幸いです。

## ＜甲状腺検査のメリット・デメリット＞

### ●メリット

- 10 (1) 検査で甲状腺に異常がないことが分かれば、放射線の健康影響を心配している方にとって、  
11 安心とそれによる生活の質的向上に繋がります。※1
- 12 (2) 早期診断・早期治療により手術合併症リスクや治療に伴う副作用リスク、再発のリスクを  
13 低減する可能性があります。※2
- 14 (3) 検査を続けていくことで、放射線の影響に関する情報を県民にお伝えすることができます。  
15
- 16 (4) 超音波検査は被ばくせず、痛みなども伴わない検査です。  
17

### ●デメリット

- 19 (1) 将来的に症状やがんによる死亡を引き起こさないがんを診断してしまう可能性があります。  
20 若い方の甲状腺がんは、一般的に重症になることが少ないとされています。自覚症状等で  
21 発見される前に、超音波検査によって、甲状腺がんを発見することにより、がんによる死  
22 亡率を低減できるかどうかは、これまで科学的に明らかにされていません。※3
- 23 (2) 治療を必要としない結節やのう胞も発見されることや(※4)、良性の結節であっても二  
24 次検査や細胞診を勧奨されることがあるため、受診者やご家族にご心労をおかけしてしま  
25 う可能性があります(※5)。
- 26 (3) がんまたはがん疑いの病変が早期診断された場合、治療や経過観察の長期化による心理的  
27 負担の増大(※5)、社会的・経済的不利益が生じる可能性があります(※6)。
- 28 (4) がんまたはがん疑いが発見されて手術に至った場合、術後合併症等の健康被害を引き起こ  
29 す可能性があります。※2

### ●参考

32 ※1. 福島県の本格検査の実績では、受診者の 0.7~0.8%の方が B 判定を受けましたが、残り約  
33 99%以上の方は、A 判定で問題のない結果になっています。

34 ※2. 甲状腺がんに対する手術は、これまで欧米では主に甲状腺全摘術で行われていましたが、日  
35 本では進行したがん以外に対しては切除範囲を限定した手術が選択されているため、手術に  
36 よる合併症は欧米より少ないことが知られています。ここで紹介する事例は福島県立医科大  
37 学附属病院(以下、「福島医大」という。)の実績であり、日本全体ではありませんが、福  
38 島医大で手術された 125 名の小児甲状腺がん症例とチェルノブイリ事故後ベラルーシの甲  
39 状腺がん症例の比較では、福島医大での症例が甲状腺機能低下症の割合(8.7%対 57.6%)、  
40 副甲状腺機能低下症の割合(0%対 12.3%)、反回神経麻痺の割合(0.8%対 6.8%)のい  
41 ずれも低くなっています。 \* ( ) 内の数値は前が福島医大、後ろがベラルーシの値です。

42 ※3. 本甲状腺検査では、5.0mm 以下の結節は二次検査の対象としておらず、5.1mm 以上の結節  
43 に対しても穿刺吸引細胞診の実施基準を適用することにより過剰な診断を抑制する対策を行  
44 い、デメリットの低減を図っています。(裏面に続く)

- 45
- 46 ※4. のう胞は「中に液体がたまった袋状のもの」で、健康な方にも見つかることの多い良性のもの  
47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61
- ※4. のう胞は「中に液体がたまった袋状のもの」で、健康な方にも見つかることの多い良性のものです。のう胞の中は液体だけで細胞がないため、がんになることはありません。結節は「しこり」とも呼ばれ、甲状腺の細胞の密度が変化したものです。結節には良性和悪性（がん）があり、多くは良性です。なお、5.0mm以下でも二次検査を受けた方が良いと判断された場合はB判定としています。
- ※5. 福島県の本格検査の実績では、B判定を受けた対象者の5～11%の方に細胞診が勧奨されています。福島医大では、二次検査受診者の方には、心のケアサポートチームの専門スタッフにより、皆様の不安に寄り添う対応をしております。また、医学専用ダイヤルでのご相談も受け付けております。
- ※6. 福島県では県民健康調査甲状腺検査サポート事業を行っており、甲状腺検査後の治療や経過観察に必要な医療費のサポートを行っています。

福島県・福島県立医科大学

※最初に同封の「甲状腺検査受診の手引き」をお読みください。

## 甲状腺検査のお知らせ

福島県及び福島県立医科大学では、東京電力福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、子どもたちの健康を長期に見守るために、甲状腺検査を実施しています。この検査は、一人一人の甲状腺の状態を長期にわたり観察し、健康な生活を送るための支援につなげたり、将来的な健康影響についての調査に役立てるものです。

この検査は、超音波検査などで甲状腺の状態を調べますが、個別に放射線被ばくの影響を調べるものではありません。検査によって、甲状腺の状態がある程度分かりますので、その結果をお伝えします。検査の結果、治療が必要な変化が発見され、早期発見早期治療につながることもありますが、甲状腺の特性上、治療の必要のない変化も数多く認めることになり、ご心配をお掛けすることもあります。そのため、甲状腺の超音波検査による検診は、一般的には行われてきませんでした。

受診されるかどうかはご本人(20歳まではご本人と保護者)のご希望によりますので、検査の内容と意義をご理解していただき、受診を希望されるかどうか、ご返信にてお知らせください。

(同封の「甲状腺検査受診の手引き」をご確認のうえ、必要書類を同封の返信用封筒によりご返送ください。)

### 甲状腺検査対象者及び保護者様

(検査日、検査場所等)

- 1 検査対象者
- 2 検査日
- 3 検査時間
- 4 検査場所
- 5 同意確認書兼  
問診票の提出期限
- 6 検査内容

検査の同意・不同意に関わらず裏面の  
「同意確認書」にご記入のうえご返送ください。

#### 【お問い合わせ先】

甲状腺検査の検査場所や日時の変更などに関するお問い合わせ（検査会場や検査実施機関への直接のお問い合わせはご遠慮ください。）

**福島県立医科大学 Fukushima国際医療科学センター 放射線医学県民健康管理センター**

**コールセンターTEL024-549-5130** (9:00～17:00土日・祝日を除く) <http://fukushima-mimamori.jp/thyroid-examination/>

※おかけ間違いのないようご注意ください。 メールアドレス：kenkan@fmu.ac.jp

